

「開いたファイルは PDF/A 規格に準拠しており、変更を防ぐために読み取り専用で開かれています。」
を解除し、各予稿ファイルのリンクを表示する方法。
【編集】 / 【環境設定】 / 【文書】 の「PDF/A 表示モード」を「適用しない」に変更。



日本リアルオプション学会
The Japan Association of Real Options and Strategy

日本リアルオプション学会 2017 年研究発表大会 プログラム

共催 金沢大学人間社会研究域（経済学経営学系）
後援 北國新聞社

11月25日（土），26日（日）

於：石川県政記念しいのき迎賓館

日本リアルオプション学会（JAROS）事務局本部
早稲田大学商学学術院 川口研究室
〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1

事務業務担当（株）共立
〒104-0033 東京都中央区新川 2-22-4 新共立ビル 2F
電話：03-3551-9893 Fax：03-3553-2047
info@realopn.jp

会場案内

石川県政記念しいのき迎賓館で行います。各会場の略称は次の通りです。下記の会場見取り図も併せてご参照ください。

会場 G : 2 階 ガーデンルーム

会場 A : 3 階 セミナールーム A

会場 B : 3 階 セミナールーム B

また、役員・評議員会、総会、懇親会の会場は次の通りです。

役員・評議員会 : 会場 A (3 階 セミナールーム A)

総 会 : 会場 B (3 階 セミナールーム B)

懇親会 : 1 階 カフェ&ブラスリー ポール・ボキューズ

会場見取り図



11月25日(土)

9:30 大会受付開始

研究報告

9:50-10:50

会場 G 研究報告(1) 座長: 小倉 宏之 (日本経営数理コンサルティング(株))

「エネルギー価格のボラティリティに関する分析」

小田 潤一郎 ((公財)地球環境産業技術研究機構)

「リアルオプション」と「アカウンティング・ダイナミックス」

*佐藤 清和 (金沢大学)・大谷 毅 (信州大学)・高橋 正人 (信州大学)

会場 B 研究報告(2) 座長: 後藤 允 (北海道大学)

“A Real Option Case under Ambiguity”

*今井 潤一 (慶應義塾大学)・福井 勇太 (慶應義塾大学)

“Partially Reversible Capital Investment under Demand Ambiguity”

辻村 元男 (同志社大学)

セミナー「伝統と革新 北陸経済の潜在能力と成長オプション」

(会場 G)

11:10-12:10

司会：長谷川 専 ((株)三菱総合研究所)

「加賀屋の伝統と革新」

小田 與之彦 氏 (株)加賀屋 代表取締役社長

13:20-14:20

司会：服部 徹 ((一財)電力中央研究所・日本リアルオプション学会会長)

「北國銀行の戦略意思決定」

杖村 修司 氏 (株)北國銀行 代表取締役専務

14:30-15:30

司会：今井 潤一 (慶應義塾大学・日本リアルオプション学会副会長)

「北陸経済の現状と課題」

宮田 慶一 氏 日本銀行 金沢支店長

15:40-16:40

司会：佐藤 清和 (金沢大学)

「北陸地域の内発型産業と事業創造イノベーション」

佐無田 光 氏 金沢大学教授・地域政策センター長

18:00-20:00 懇親会 (1階 カフェ&ブラスリー ポール・ボキューズ)

11月26日（日）

9：00 大会受付開始

チュートリアル（会場 B）

9：30－11：40

司会：服部 徹（（一財）電力中央研究所・日本リアルオプション学会会長）

「リアルオプションの直感的、多面的な理解をめざして」

森平 爽一郎 氏（慶應義塾大学名誉教授）

途中10分の休憩を挟む

研究報告

9：30－10：30

会場 A 研究報告（3） 座長：小田 潤一郎（（公財）地球環境産業技術研究機構）

「ランダム環境の下でのプロジェクトの価値評価法」

宮原 孝夫（名古屋市立大学）

「意思決定理論との整合性を考慮した記述的リスク尺度の提案」

*小野崎 純人（慶應義塾大学）・今井 潤一（慶應義塾大学）

10：40－11：40

会場 A 研究報告（4） 座長：伊藤 晴祥（国際大学）

“Real Options in Renewable Portfolio Standards”

*後藤 允（北海道大学）・高嶋 隆太（東京理科大学）

「高頻度非財務情報による東日本大震災以降の主要電力会社の利益変動予測」

吉田 靖（東京経済大学）

11：45－12：45 役員・評議員会（会場 A）

12：50－13：50 総会（会場 B）

14:00-15:00

会場 B 査読セッション 座長：辻村 元男（同志社大学）

“Mergers and acquisitions strategy under imperfect information: A mixed payment model”

Chen Wenjun（北海道大学）

「地震リスクの地域別格差とパレート分布による料率評価について」

小倉 宏之（日本経営数理コンサルティング（株））

会場 A 研究報告（5） 座長：吉田 靖（東京経済大学）

「持続可能な開発目標推進企業の株価に連動する世銀債の価値分析」

森平 爽一郎（慶應義塾大学）・*伊藤 晴祥（国際大学）・小林 弘樹

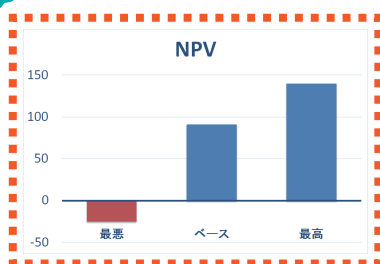
「市場データ等を活用したデフレ確率の推計とその課題」

*湯山 智教（東京大学）・森平 爽一郎（慶應義塾大学）

15:10-16:00 表彰委員会（会場 B）

このシナリオって
確かな？

最高と最悪を
なんとなく予想



新商品を出すけど、市場の
成長性はどうか？ 競合とのシェア
争いは？ 為替変動の影響はどれ
くらい？ 品質のばらつきは安定して
る？ 開発スケジュールが遅れない
か心配だな… 原材料費が高
騰する可能性がある

ビジネスのリスクは膨大で複雑

モヤモヤ解消！

Oracle®
Crystal Ball

モンテカルロシミュレーションで 先のビジネスへ

世界標準
リスク分析
ソフトウェア

Fortune 500 企業の 85%
米国 MBA トップ 50 校が導入

1. 可能性の可視化

迅速な意思決定を支援

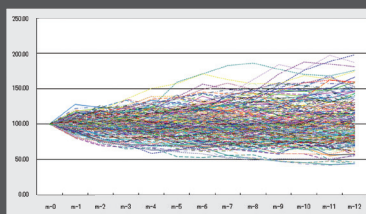
2. 組織力の向上

充実した教育プログラムを実施

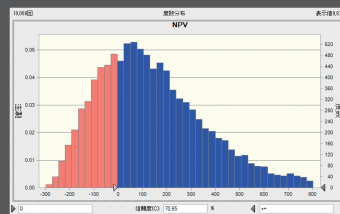
3. 簡単操作

Microsoft® Excel® 上で動作

すべてを確かに想定



リスク要因の変化によっ
て起こりえるシナリオを
明確にし、
目標を達成できる可能性
が具体的に何%あるのか
を明らかにできます。



Learn more ▶

クリスタルボール

リスク分析

検索

構造計画研究所
KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc.

株式会社構造計画研究所 Crystal Ball

TEL: 03-5342-1090 E-mail: cb@kke.co.jp

※Oracle は Oracle Corporation およびその関連企業の登録商標です。※Microsoft、Excel は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
※記載されている会社名や製品名は各社の商標または登録商標です。※構造計画研究所、構造計画研究所ロゴは株式会社構造計画研究所の登録商標です。

会場案内図



最寄り駅と所要時間

JR 金沢駅バスターミナル

兼六園口（東口）3・6・8・9・10・11 番 または、金沢港口（西口）5 番

乗り場よりバスにて「香林坊（アトリオ前）」下車（所要約 10 分）

徒歩約 5 分

詳細については、石川県政記念しいのき迎賓館ホームページをご参照ください。

URL : <http://www.shiinoki-geihinkan.jp/about/access.html>

発行日：2017 年 11 月

製作：日本リアルオプション学会

JAROS2017 大会実行委員会

E-mail: info@realopn.jp